



約8ヶ月ぶりに、第三日野小学校に昔から住んでいる妖怪たちが呼び起こされ、真っ暗な校舎で久しぶりの再会を祝いました。おやじの会は、三日野妖怪同窓会を支援する肝試し大会を企画、演出し、大勢の子供たち、保護者の皆様にも祝福して頂きました。

三日野肝試し大会（11月17日）

肝試し当日は学習発表会があり、朝から子供たちの元気のいい声、そして観覧保護者の拍手喝采で賑わっていました。そんな中、おやじたちは、この8ヶ月間、練りに練ってきた構想を実現すべく、三日野に古くから住んでいると言われる伝説の妖怪を目覚めさせ、夜の街に、歓声と悲鳴の嵐が吹き荒れました。

妖怪・お化け紹介

それではここで、当日登場して頂いたお化けたちの一部をご紹介します。衣装は皆、自前です。



ダースベーダー



謎の神父さん



手術を抜け出してきた医師

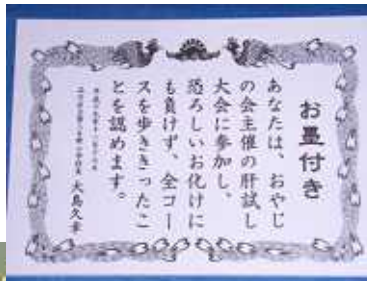
今回の参加者は、全部で180名、うち在校児童は108名でした。体育館で集合した後、図書室（2階）、5 - 2、音楽室（3階）、図工室、2 - 1（2階）、視聴覚室（1階）の6カ所に置かれたスタンプを集めるだけの、ごくごく簡単なスタンプラリーです。スタンプを全部押すことができれば、ゴールで景品と校長先生のお墨付きが貰えます。今回大暴れした妖怪・お化けたちは、皆、昔から三日野に住んでいて、今は再び長い眠りに戻っています。でも、いつまた、あなたのところに起きてくるはわかりませんよ。



がいこつの兄弟



お岩さん？(本日のMVP)



校長のお墨付き



大声を出しながら、何とかスタンプを押す先生



《編集後記》

三日野の名物となりつつある肝試し。全校生徒を対象として実施するのは今回が初めてでした。応募数が200名近くにのぼり、うまく運ぶか不安もありましたが、おやじたちの結束力の強さをあらためて認識する、素晴らしい大会になりました。色々な意味での先生方のご協力もあり、参加者にも満足頂いたと思います。次回は、マスコミ取材の準備をして臨みます。（文責山田）